

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	DVC久喜物流センター 新築工事	階数	地上2F
建設地	埼玉県久喜市	構造	S造
用途地域	無指定地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2025年7月29日
敷地面積	5,847㎡	作成者	八木
建築面積	3,702㎡	確認日	2025年7月30日
延床面積	6,754㎡	確認者	八木

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.5</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p>	<p>Q2 サービス性能 5 Q1 室内環境 4 Q3 室外環境(敷地内) 3 LR1 エネルギー 2 LR2 資源・マテリアル 1 LR3 敷地外環境 0</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア= 2.2</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア= 0.0</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア= 2.8</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア= 1.8</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア= 2.5</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア= 0.0</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア= 2.9</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア= 2.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>敷地北東側・南側・西側に緑地を設け、周辺になじむ外観計画としました。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>特になし。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>建築基準法に定められた耐震性を有する。3.9m以上の階高、0.1≦壁長さ比率&lt;0.3とすることで空間のゆとりを持たせました。2900N/m未満とすることで荷重のゆとりを持たせました。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>特になし。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>屋外側: ガルバリウム鋼板+PB12.5 屋内側: PB19.5として、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっています。内装材と設備が錯綜せず、解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれを取り外すことができるようになっています。地球環境に配慮し、森林資源に影響する材料を採用してい</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>特になし。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**DVC久喜物流センター 新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 室内騒音レベル		-	-	3.0	-				
1.2 遮音		-	-	-	-				
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	-				
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
1.3 吸音		-	-	3.0	-				
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御		-	-	-	-				
1 室温		-	-	3.0	-				
2 外皮性能		-	-	3.0	-				
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		-	-	3.0	-				
2.3 空調方式		-	-	3.0	-				
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 昼光利用		-	-	-	-				
1 昼光率		-	-	3.0	-				
2 方位別開口		-	-	3.0	-				
3 昼光利用設備		-	-	3.0	-				
3.2 グレア対策		-	-	-	-				
1 昼光制御		-	-	3.0	-				
3.3 照度		-	-	3.0	-				
3.4 照明制御		-	-	3.0	-				
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策		-	-	-	-				
1 化学汚染物質		-	-	3.0	-				
4.2 換気		-	-	-	-				
1 換気量		-	-	3.0	-				
2 自然換気性能		-	-	3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	-				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御		-	-	-	-				
<b>Q2 サービス性能</b>			0.43						<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>									
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-				
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-				
3 バリアフリー計画		-	-	-	-				
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-				
1 広さ感・景観		-	-	3.0	-				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画		-	-	-	-				
1.3 維持管理		-	-	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-				
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-				
<b>2 耐用性・信頼性</b>									
2.1 耐震・免震・制震・制振		2.6	0.50	-	-				2.6
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.50	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.80	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.50	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.50	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	-	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	-	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	-	-	-				
2.4 信頼性		1.0	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		-	-	-	-				
2 給排水・衛生設備		-	-	-	-				
3 電気設備		-	-	-	-				
4 機械・配管支持方法		1.0	1.00	-	-				
5 通信・情報設備		-	-	-	-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.1</b>	0.50	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	3.9m以上(矩計図に記載)	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	0.1≦壁長さ比率<0.3(平面図に記載)	4.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>2.0</b>	0.30	3.0	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		-	-	-	-	
2	給排水管の更新性		-	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	1.00	-	-	
4	通信配線の更新性		-	-	-	-	
5	設備機器の更新性		-	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		-	-	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.57	-	-	<b>1.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>2.5</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	-	-	-	-
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			-	-	-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>			-	-	-	-	-
<b>3 設備システムの高効率化</b>			[BEI][BEIm] = -	-	-	-	-
<b>4 効率的運用</b>			-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.50	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>			-	-	-	-	-
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.8</b>	0.60	-	-	<b>2.8</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.11	-	-	-
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.22	-	-	-
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			3.0	0.22	-	-	-
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>			1.0	0.22	-	-	-
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			-	-	-	-	-
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			5.0	0.22	-	-	-
							屋外側:ガルバリウム鋼板+PBt12.5 屋内側:PBt9.5
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	-
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			-	-	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	-
3	冷媒		-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.50	-	-	<b>2.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			-	-	-	-	-
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>1.5</b>	0.50	-	-	<b>1.5</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			-	-	-	-	-
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>1.0</b>	0.67	-	-	-
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>2.6</b>	0.33	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.33	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	-
3	交通負荷抑制		4.0	0.33	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>2.7</b>	0.50	-	-	<b>2.7</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		-	-	-	-	-
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-
3	日照障害の抑制		3.0	1.00	-	-	-
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>1.6</b>	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	DVC久喜物流センター 新築工事	BEE	0.5	BEEランク	★★
------	------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	1.0	=	1.0 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
<配慮した内容を記述>			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	1.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	1.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
<配慮した内容を記述>			

 :入力欄